

2015/0702 卓話：鈴木孝雄パストガバナー

皆様こんばんは。二日前にやっとガバナー職を解かれまして、いまや、いちロータリアンとして本日も、実は私ども池袋 RC も木曜日は例会ですので、昼に出席してまいりました。皆さんに一年のお礼を申し上げました。これから皆さんも親クラブの第一例会には是非会長、幹事さんは行ってご挨拶をしないといけませんね。板橋 RC さんは池袋 RC が親クラブになります。丁重に例会にいらっしゃっていました。

私達、池袋 RC は北クラブの子クラブなんです。立派なクラブなんですよ。百三十何名いますから。今年は Be a Gift to the world、というのがテーマですよ。皆さんに我々の能力を使って世の中にお届けしようと。みんな財力もあるけれど、皆さんの能力、職業上のいろんな専門的なものを使ってロータリーとして貢献しようと。そういう意味だと僕も思っています。

あと少し出席率が悪いですよ。新しいクラブだから皆さん、もっと盛り上がってかつ燃え上がっているところなんだから。なんとか上げていただきたい。

またニコニコについて。大変すばらしい。皆さん趣旨をわかっているみたいですね。何とかニコニコしたいときに本来お出しするのですが。いいですよ、失敗したときだって申し訳なかったということで。強制的に出せ出せというものではないんです。それよりはウィットあふれたいいコメントをくれたりしたら月間で表彰するとか、そういうのもいいとは思いませんか？びったりだ、これこそいいことを言ってくれたと。参考にね、やれというわけではなく。そんな意味でいろいろと工夫されたいかなと思います。

実は私も今年は 33 年の皆勤賞を頂きました。33 年たったなあと思ったんです。思い出せばカナダのトロントで世界大会があったのが 2 年目でした。入会してからまもなく。何故入会したかという、先輩がね、39 歳でしたけど、まだ。青年会議所の先輩が「あんた入れ」って、ロータリーに。ロータリーなんて、そんな大それたことは僕には出来ませんと言ったのですが。「いいんだよ」と。当時高いですよ。入会金が確か 30 万、40 万したと。そんなことでした。いや、奉仕のお金と毎週 4~50 万のお金が入っているんだから、それくらい当然だろう、と言われてましてね。でもこういうものは言われたときに入らないと入れてくれといっても入れない。ということもあり、僕も世のため、人のためというの嫌いではないので、エイヤーと思って入りました。ただ紹介してくれた先輩の出席があまりよくないですよ。寂しいですよ、行っても。お父さんみたいな方が沢山いるんですよ。それでいやになってという訳ではないんですがメイクアップに努めました。

当時、僕の仕事は電気通信関係で、全国に仕事場はあったんですがね、ほぼ行った。沖縄まで行ったような気がするけど。沖縄ではメイクアップはしませんでしたが。あとこれだけは心してください。はるばる東京から見えました、一言、と言われてますから。でもどうってことないですよ、うちは東京御苑 RC といましていつ出来ましたとか。是非東京にお越しの際は夜の 7 時からですから、とか言えいいんですよ。あと自分の仕事とかね。是非臆せずメイクアップに行っていたきたい。そうすれば勉強になる。良いところ、悪いところとかみんなわかりますから。第一こういうのがロータリーか、ということもあるかもしれませんが。場合によってはガバナーが訪問しているときにぶつかるかもしれませんよ。僕も 1 回ありました。今日の黒岩会長のようなすばらしい第一例会の覚悟のスピーチに比べるとあれ？なんて思う。それがいけないというのではなく、その方その方、その土地、その土地のものがありますので、それもまた勉強になると思いますので申し上げます。

と同時に、ロータリーの何たるか？一番早いのは歴史ですよ。なぜロータリーが出来てどうなってどういうふう動いてきたか。勉強されているし知っていると思うかもしれませんが。DVD もありますしね。どなたか大変 IT に詳しい方もいらっしゃるし。ぜひご参考にされて。何たるかを知らないうちに辞めてもいけませんしね。お金ばかりかかっちゃうとか。面白くないとかで辞めちゃうということがないようにぜひ勉強していただきたい。

そもそも 1905 年にポールハリスという方が、あとで日本にきたときに、なんで作ったんですかと聞い

たら寂しかったんだ、とおっしゃったとか。当時のシカゴが大変経済的には好機だったものですから、商売をやっている人は何でもありだったんでしょね。今でいう職業道德なんかどうってことない。ものが売ればいい。多少不良品入れても、石炭におがくずを入れたりね、そんなことをしたんじゃないかと。それじゃまずい。信用できる人、一つの業種にひとり来てもらって、どうせならそういう人たちと商売しよう。で、自分と、石炭商と材木商はもうひとりいたんですがね。4人で始めたんです。お互いに事務所を転々と週の例会場にした。ぐるぐるまわるのでロータリーだ、ということだったらしいです。記事もだんだん変わってきていますが。だいたいそんな流れです。そんなことを含めて、そもそもはお互い商売をし合おうと。一番信用できる人と商売をする、それは一番最高ですよ。値段のことにしろ、へんな不良品を押し付けられないということも含めて。ですから我々、特に日本のロータリアンはそれを気にしていますが、職業上に倫理観を持って仕事をしよう。いい加減じゃいかんと。

実は牛肉にいろんなものを混ぜて売ったのは、北海道のロータリアンだったんですね、残念なことに。でもあの業界はそういうことで肉が美味しくなるということもあったんですって。そういうことも、はっきりと業界誌に書いてあるんです。我々もそれを見せられましたけれども。だから本当に悪いと思ってやっていたというわけではなくて、そのほうが美味しいと。だからこういうものを入れていまして、とはっきりと言ってあればよかったんだけど、それを言わないがために世間からさんざん袋叩きにあいました。まあそういう、誤解ということもありますから。是非そういうことがないようにお願いしたいと思います。

皆さん、バッジはつけてますね、ロータリーバッジ。これね、皆さん本当につけて歩けます？歩けたら立派だと思う。僕は入ってすぐ外しましたね、例会が終わると。自分を卑下して言うと、僕はロータリアンにふさわしくないと。あんな立派な人達が沢山いるのに、こんなバッジをつけて。あ、あなたロータリアン？と言われたときにどうしようと思ったんです。だからしばらく、変な所に行くから外したんじゃないんですよ、そういうことじゃなくて。あなたロータリアン？と聞かれたときに、覚悟ができていないときにはつけられないものですよ。ですから例会が終わって外す人はちょっと危険ですが、いろいろと勉強していくと先輩から眠たいのに当時はおいしい料理を食べさせられるんですよ。当時、西武百貨店の上で立派なフランス料理を食べさせてもらって。そうすると眠くなるんですよ。一生懸命目をあけているんですが、何回も同じ話を聞いていると段々、あ、そうかと。宗教とは違いますからね。職業人としてその業界のリーダーとして倫理観をもって仕事をするべきだと。それで僕は、宗教的だけど僕の宗教に代わるものを見つけたと。それから堂々とバッジをつけて、あなたロータリアン？と聞かれたら、はい、そうですと。ロータリーって何やってるの？と。こんなことをやっています、と。そういうことが言えるようになってから、僕は初めてバッジをつけました。ですから皆さん、外すということがないように。それだけの自信を持って、ロータリアンとして生きてもらいたいと思います。

そういう意味で、これからのいろんな奉仕活動をしたり、いろんな友達と知り合いになって、ロータリーに入ってよかった、ロータリアンでよかったと思うことがいっぱい出てきます。もうすでにそういうことを経験されている方が多いと思いますが、是非そういうのを皆さんの中に蓄積していただきたいと思います。そういうのがいっぱいあると、辞めたいよ、と万が一そんな話が出たらこんな良いことがあるじゃないの、とか、新しく入ろうとしていらっしゃる方がいたら、一押しするためにはこういう良いことがあると言えますから。そして自分の宝ですから。ロータリーで感激した、ロータリアンでよかったと思うことをいっぱい作っていただきたいと思う次第です。

このクラブは順序が違っています。本当はこういうクラブを作りたい、で、特別代表が決まり、スポンサークラブが決まり、というようにできたものですが、皆さんの集まりがよく、誤解を受けたこともあったり不幸なときもありましたが、これからは堂々と運営をやって頂きたいと思います。国際ロータリーが認めているクラブであります。メイクアップされるのもいいと思います。もちろん、自クラブの例会に出ることは大事なんだけれども。どうしても出張でどこかへ行ったとき。どうせ皆さん昼飯食べ

るでしょう。食べるなら是非他のロータリークラブでメイクアップして召し上がったらいかがでしょうか。

「ロータリーの友」6月号か7月号に他地区ロータリークラブの例会場所・時間等が書いてあります。それをご覧になっていただいてもいいし、もしお得意さんと一緒に食事しないといけないときは、ちょっと一緒にロータリークラブへ行かない？と。例会費は負担して差し上げることになると思いますが、良いことやっているんだ、自分も入ろうかな、ということもあるかもしれない。みんな素晴らしい方ばかりだし。

最初から立派なロータリアンなんていないんです。いずれちゃんとして、偉そうなことを言うてはなんですが、ガバナーをやらなければいけないような立場になるようなこともあるんでね、僕なんか全くそんなつもりで始めたわけじゃないんですが、そんなこともありますから。最初は誰でも普通の人間なんです。人間以下のところもありますけどね、人間として信用されないような。まずはロータリアンである前にちゃんとした人間でなければいけない。そんな方がロータリアンとして成功するためには、ロータリアンとして認められる行動を取ることが大事なので、是非メイクアップをしていろんなところで勉強していただきたいと思います。

黒岩会長が言われたように、まずは例会に出席して皆さんの親睦をはかる。クラブとして成立するためには仲間が集まらなければいけない。たまたま集まっちゃったといいましたけど。みなさん親しくなって、あー僕ら仲間かなと。それじゃ何か役立つことをやろうと。そもそもそれがロータリークラブ発祥の考え方です。自分達だけで仕事をまわしあって。それじゃ僕入りませんという人が出てきたのです。自分のためだけにやってるんじゃ、そんなの自己満足じゃないか。社会のために何かやろうと思う人が出てきたので、これではいけないと。2年目に社会奉仕事業というんですが、公衆便所を作ったそうです。それが最初の社会奉仕。もともと、親睦というのはクラブ奉仕ですよ。それから社会奉仕に始まって。それはいいことだと段々世界に広がったんです。イギリス、オーストラリアなど。もちろんアメリカを中心として。そうやってお互いを理解しあおうよということで国際奉仕ができて。そのあと青少年奉仕が出てきた。やはり政治的にも一番政治家が一生懸命やろうとしてもなかなかやれないのが青少年奉仕です。ロータリアンが一番向いているのが青少年奉仕だと思っています。ガバナーの公式訪問ですべて歩きましたけれども、将来の会員になってもらえるということで青少年にロータリーの考え方を教えていくということも大変大事なことだと思います。社会奉仕、クラブ奉仕、国際奉仕、青少年奉仕ということで今頑張っているわけでありまして。

「ロータリーの友」ってすごく良い参考書です。一年間を通すと毎月のテーマが決まっていますから、その担当委員長になられたら一年前、二年前の資料を引っ張り出したら立派な参考書になりますから、是非お読みいただきたいと思います。出席、会費の支払、三つ目の義務が「ロータリーの友」、要するに機関誌、その3つが義務でございます。

出席は個人の意思なのでこれは権利です。お金を払っているんだからそうですよね。よそのクラブへ行ってもお金を払わなければいけないんです。よそのクラブに行ってもいいんです。断られたこともあったと聞きましたが断ってはいけない。バッジをつけていけば。僕も本当は断るべきだとは思ったけれども断れずに入ってきた、そのようなロータリアンがいましたけど。絶対出席はロータリーの権利です。義務じゃないと僕は思っています。そんなことで是非みなさん、メイクアップをお願いすることと、1年目、2年目ではなかなかうまくいきませんが、勉強して地区の委員に出られるということもお考えください。いちいちクラブからの出費では、まともだと大変な負担になりますから、自分でお金を支払って勉強するよ、と地区に出ていただいて活躍していただきたいと思います。また時間を見つけて個別の問題についてはお話ししたいと思っております。ガバナーの責任と思って「特別代表」をお引き受けました。、引き受けたからには、水野さんには死ぬまでと言われましたが、極楽往生したいもので。皆さんが立派にやってくだされれば、僕は風になって吹いています。〈おわり〉